



# DATA in 九州

九州の身近なデータを  
ワンポイント解説する  
コーナーです。

## 今月の注目データ

今月は「<sup>ばんぺいゆ</sup>晩白柚の収穫量」と「国際会議の開催件数」です。



晩白柚の収穫量

検索



国際会議の開催件数

検索





## 国際会議の開催件数

2012年に福岡市で開催された国際会議は252件にのぼり、東京23区に次ぎ全国2位となりました。アジア主要都市から近いという地理的メリットに加え、九州大学をはじめとした研究機関が積極的に国際会議を開催してきたことがここ数年の増加に繋がったと考えられます。

国際会議は来場者が多く、経済波及効果も大きいことから、国は世界的なMICE都市（国際会議等のハードやソフトの機能を高めた都市）の育成を図ることを表明しており、福岡市はグローバルMICE戦略都市（※1）に選定されました。

### 国際会議の開催件数（※2）

	2007年	件数 (件)	2008年	件数 (件)	2009年	件数 (件)	2010年	件数 (件)	2011年	件数 (件)	2012年	件数 (件)
1位	東京23区	440	東京23区	480	東京23区	497	東京23区	491	東京23区	470	東京23区	500
2位	京都市	183	横浜市	184	福岡市	206	福岡市	216	福岡市	221	福岡市	252
3位	横浜市	157	福岡市	172	横浜市	179	横浜市	174	横浜市	169	京都市	196
4位	福岡市	151	京都市	171	京都市	164	京都市	155	京都市	137	横浜市	191
5位	名古屋市	109	名古屋市	130	名古屋市	124	名古屋市	122	名古屋市	112	大阪市	140
全国	1,858		2,094		2,122		2,159		1,892(※3)		2,337	

(出所:日本政府観光局(JNTO)資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

※1:アベノミクスの第3の矢(成長戦略)の政策群のひとつ

※2:開催件数の基準:国際機関・団体、国家機関・国内団体が主催する会議で、参加者50名以上、参加国3カ国(日本含む)以上のもの

※3:2011年については、東日本大震災等により、全国の件数は減少した。



ばんべいゆ

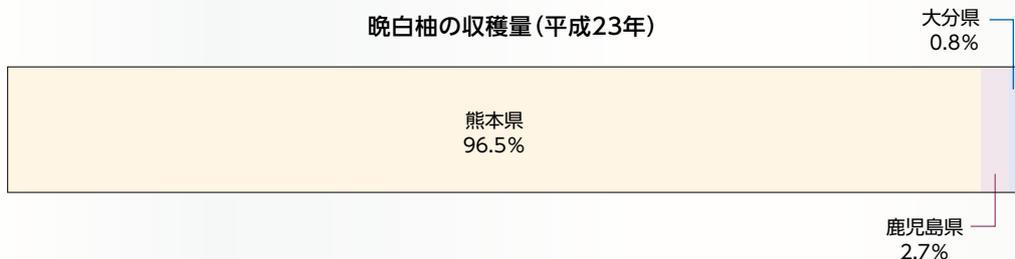
## 晩白柚の収穫量

12月から2月にかけて収穫期を迎える、世界最大級の柑橘類・晩白柚。その大きさをや、直径20~25cm、重量1.5~2.5kgで、大きいものでは3kgを超えるものもあります。

熊本県八代郡（現在の八代市）の植物学者・島田弥市氏が大正時代にベトナムから持ち込み、普及に努めたのが日本での始まりとされ、現在は八代市を中心として熊本県が全国の生産量の96%以上を占めています。

果肉はサクサクとした歯ざわりで、穏やかな酸味と甘みとのバランスに優れ、肉厚で柔らかい皮も砂糖で煮るとおいしく食べることが出来ます。

### 晩白柚の収穫量(平成23年)



(出所:農林水産省「平成23年産特産果樹生産動態等調査」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

## 福岡県の最近の経済動向

### 福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

福岡県の景気は、足元の生産に弱さが見られるものの、個人消費は前年比プラス推移を継続する等、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いています。

生産は、新型車販売に備えた生産調整等により足元は持ち直しの動きに弱さが見られます。個人消費は、大型小売店販売額、自動車販売ともに前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は9ヵ月連続で前年を上回り堅調に推移しています。

(森山 裕司)

### 1.生産活動 | 足元、持ち直しの動きに弱さが見られる

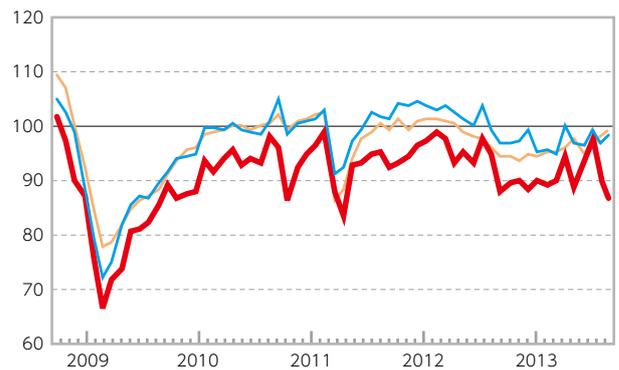
9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は87.1と前月比4.0%低下しました。

生産は、足元、持ち直しの動きに弱さが見られます。

主要業種では、汎用の鋼帯や粗鋼が増産となった鉄鋼が上昇しています。一方で、新型車発売に備えて生産調整された輸送機械は低下しました。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(全国・九州7県 2010年=100、福岡県 2005年=100)

出所 福岡県、九州経済産業局、経済産業省



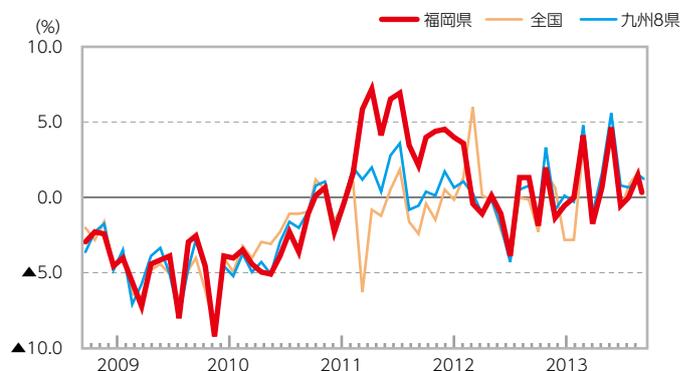
### 2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

10月の大型小売店販売額は、前年同月比0.4%増の554億円となりました。

月の上旬・中旬の気温が高かった影響で秋冬物衣料品が振るわなかったが、冷凍食品や惣菜等の中食商品が好調だった飲食料品は前年を上回っています。

10月の自動車販売は、前年同月比27.3%増の14,405台となっています(乗用車は同23.0%増、軽自動車は同36.0%増)。

■ 福岡県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





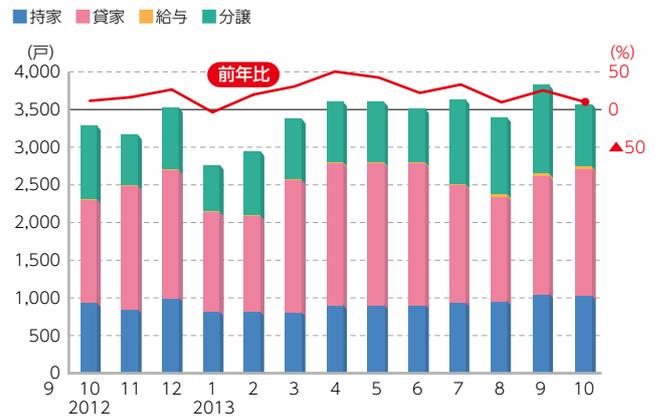
### 3.住宅建設 | 堅調に推移している

10月の新設住宅着工戸数は、3,536戸と前年同月比8.0%増加し、9ヵ月連続で前年を上回りました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、「持家」「貸家」が前年を上回る等、堅調に推移しています。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



### 4.公共工事 | 好調に推移している

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比18.6%増の1,416件、金額が前年同月比17.8%増の591億円となりました。

発注者別では、総合体育館新築工事等の大型案件があった「市」が前年を大きく上回る等、好調に推移しています。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前月を下回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比13.8%増の33件、負債総額は同69.1%減の約18億円となりました。

運送業で1億円を超える倒産が3件ありましたが、負債総額、件数ともに前月を下回っています。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 熊本県の最近の経済動向

### 熊本県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

熊本県の景気は、個人消費に持ち直しの動きが見られる他、主要指標である生産が底堅く推移する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

生産は、電子部品・デバイスが増産となる等、底堅く推移しています。個人消費は、大型小売店販売額、自動車販売ともに前年を上回り、持ち直しの動きが見られます。住宅建設や公共工事も好調に推移しています。

(大仲 陽介)

### 1. 生産活動 | 底堅く推移している

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は99.1と前月比2.8%上昇しました。

生産は、若干の上下動が見られるものの、概ね底堅く推移しています。

主要業種では、自動車やスマートフォン向け半導体が増産となった電子部品・デバイスが上昇しました。一方、半導体製造装置が減産となった一般機械が低下しています。

■ 熊本県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(全国・九州7県 2010年=100, 熊本県 2005年=100)



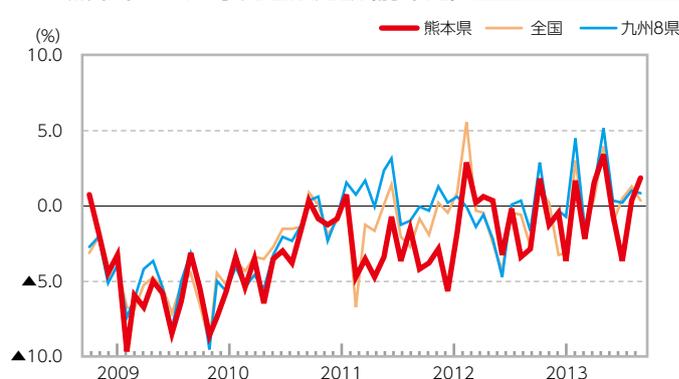
### 2. 個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

10月の大型小売店販売額は、前年同月比2.0%増の134億円となりました。

10月は気温が高かったため、コート等の防寒着の売れ行きが鈍く衣料品の販売は低迷しましたが、飲食料品は少量パックの惣菜等が好調で前年を上回りました。

10月の自動車販売は、前年同月比13.4%増の5,245台となっています(乗用車は同23.2%増、軽自動車は同2.9%増)。

■ 熊本県の大型小売店販売額(前年比) (出所 九州経済産業局、経済産業省)



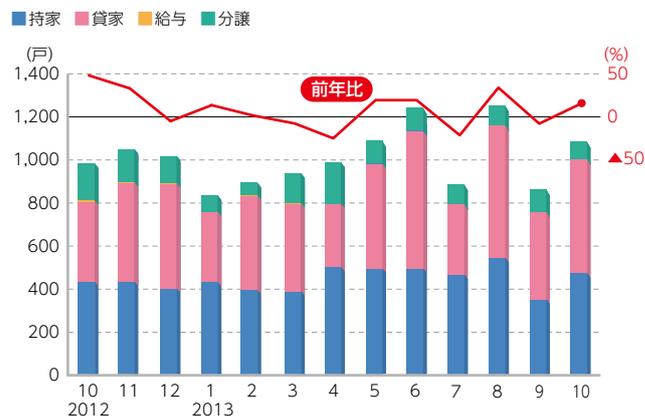
### 3.住宅建設 | 好調に推移している

10月の新設住宅着工戸数は、1,076戸と前年同月比11.5%増加しました。

「分譲(マンション)」の着工はありませんでしたが、「持家」「貸家」「分譲(一戸建)」は増加しており、消費税増税を意識した駆け込み需要により、着工戸数は好調に推移しています。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



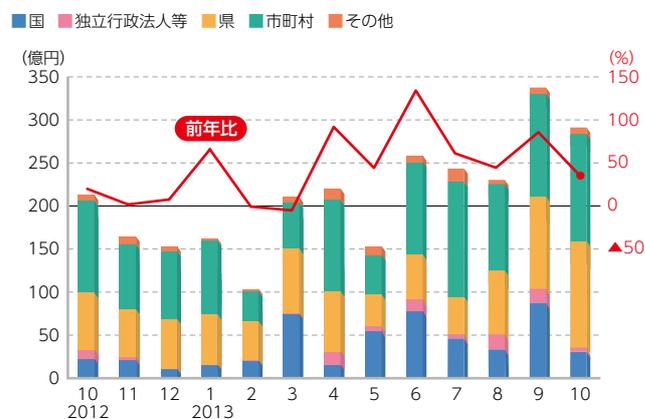
### 4.公共工事 | 好調に推移している

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比37.4%増の1,000件、金額が同37.6%増の289億円となりました。

発注者別では、砂防工事の発注があった「県」が前年を大幅に上回る等、好調に推移しています。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



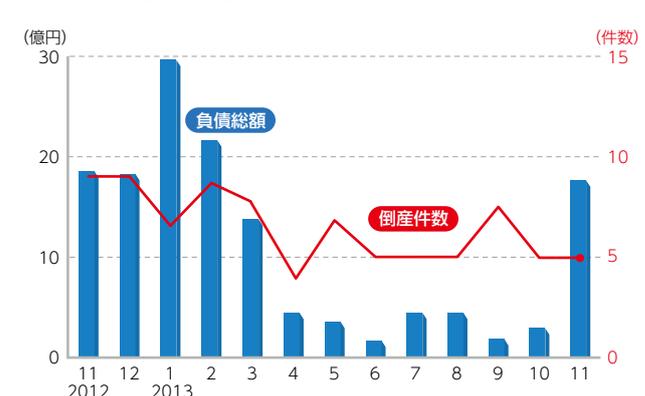
### 5.企業倒産 | 負債総額は大幅に増加

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比44.4%減の5件、負債総額が同8.0%減の約17億円となりました。

結婚式場と畜産業で大型倒産が発生したため、負債総額が8ヶ月ぶりに10億円を超えました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 長崎県の最近の経済動向

### 長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

長崎県の景気は、主要指標である生産が増加に転じた他、個人消費は持ち直しの動きが続く等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、操業度が低下していた造船や電子部品に回復の兆しが見られます。個人消費は、大型小売店販売額、自動車販売ともに前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は、着工戸数増加の動きが一服しています。

(下田 大氣)

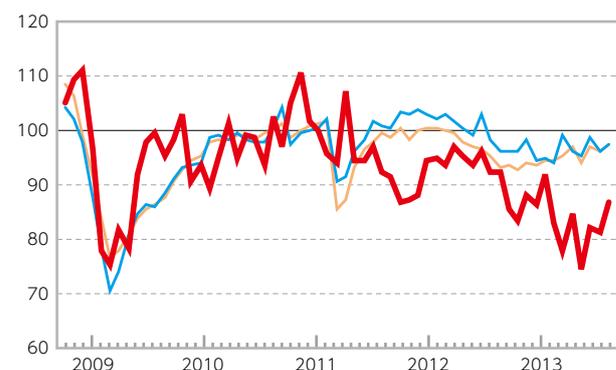
### 1.生産活動 | 足元では上向きの兆しが見られる

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は86.9と前月比6.9%上昇しました。

主要業種では、修繕船の生産が増加した輸送機械が上昇した他、スマートフォン向け半導体集積回路が増産となった電子・デバイスが上昇するなど、生産は足元では上向きの兆しが見られます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(全国・九州7県・長崎県 2010年=100)

出所 長崎県、九州経済産業局、経済産業省



### 2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

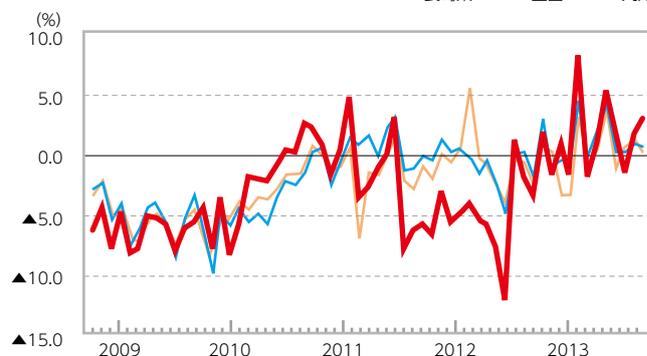
10月の大型小売店販売額は、前年同月比3.2%増の93億円となりました。

主力の衣料品は冬物衣料が振るわなかったものの、惣菜・果物を中心に飲食料品が前年を大きく上回り全体を押し上げました。

10月の自動車販売は、前年同月比19.6%増の3,687台となっています(乗用車は同25.1%増、軽自動車は同14.7%増)。

■長崎県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省

— 長崎県 — 全国 — 九州8県





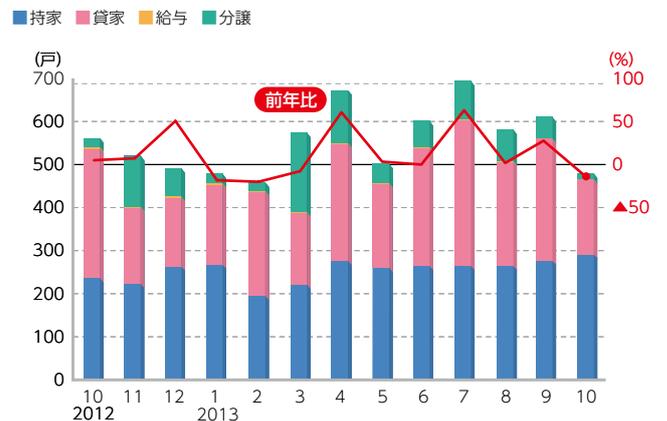
### 3.住宅建設 | 着工戸数増加の動きが一服

10月の新設住宅着工戸数は、483戸と前年同月比13.9%減少しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、「持家」は大きく増加しましたが、「貸家」と「分譲」の着工が大きく減少したことから、前年同月を下回りました。足元では、着工戸数増加の動きに一服感が見られます。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



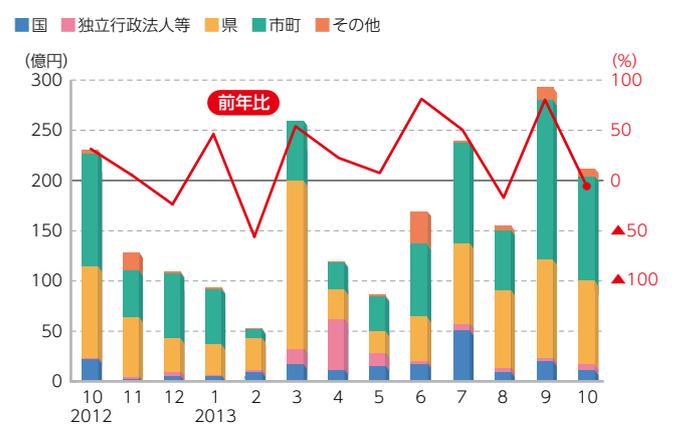
### 4.公共工事 | 月次の振れを伴いつつ、堅調に推移している

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比8.3%増のは584件、金額が同7.1%減の214億円となりました。請負金額は、大型案件があった前年同月並を確保しており、月次の振れを伴いつつ、堅調に推移しています。

発注者別では、「県」と「市」で鉄道・トンネル関連工事の大型案件がありました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



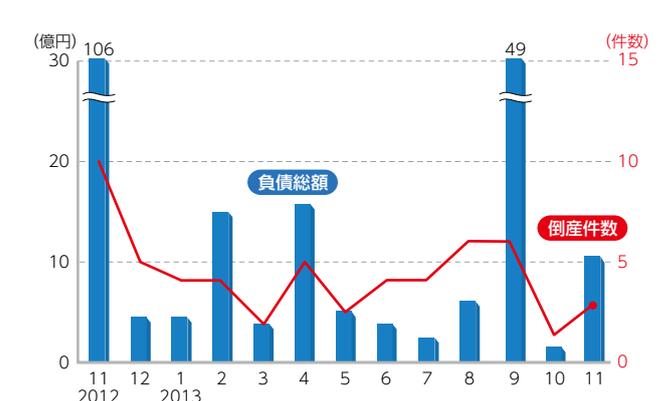
### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前月を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比70.0%減の3件、負債総額が同90.0%減の約11億円となりました。

プラスチック製品製造業で10億円の大型倒産が発生し、負債総額は前月を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 佐賀県の最近の経済動向

### 佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

佐賀県の景気は、個人消費に弱さが見られるものの、主要指標である生産が3ヶ月連続で前月を上回る等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、シリコンウェハーが増産となる等、足元では上向きの兆しが見られます。個人消費は、自動車販売が前年を上回ったものの、大型小売店販売額が前年を下回る等、弱含みで推移しています。住宅建設は、着工戸数増加の動きが一服しています。

(下田 大氣)

### 1.生産活動 | 足元では上向きの兆しが見られる

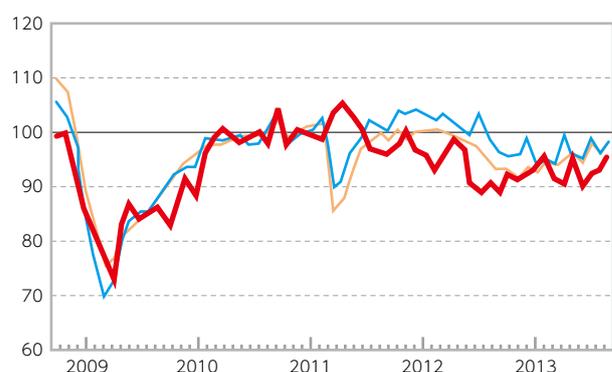
9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.0と前月比2.2%上昇しました。

比重の高い化学や一般機械の上昇基調が続いており総合指数は3ヶ月連続で前月を上回る等、生産は足元では上向きの兆しが見られます。

主要業種では、シリコンウェハーが増産となった電子部品・デバイスが上昇しました。

■ 佐賀県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(全国・九州7県 2010年=100、佐賀県 2005年=100)

出所 佐賀県、九州経済産業局、経済産業省



### 2.個人消費 | 弱含みで推移している

10月の大型小売店販売額は、前年同月比0.5%減の54億円となりました。

残暑の影響により冬物の売れ行きが鈍く、衣料品は同8.4%減と大きく低下しました。

10月の自動車販売は、前年同月比19.1%増の2,497台となっています(乗用車は同17.5%増、軽自動車は同20.7%増)。

■ 佐賀県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





### 3.住宅建設 | 着工戸数増加の動きが一服

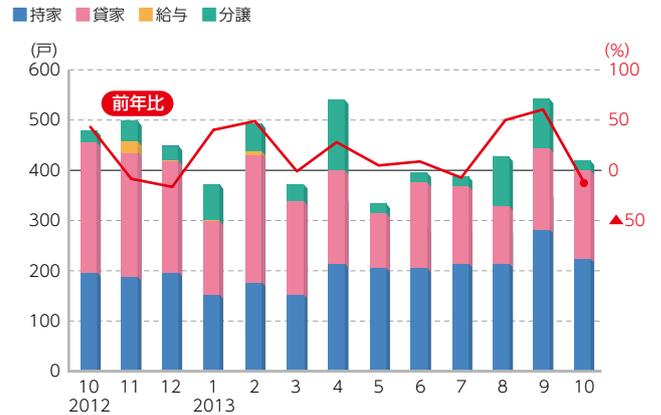
10月の新設住宅着工戸数は、424戸と前年同月比11.3%減少しました。

「持家」は前年を上回ったものの、「貸家」「分譲」が前年を大きく下回り、全体を押し下げました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、着工件数は高水準で推移していましたが、足元では一服感が見られます。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



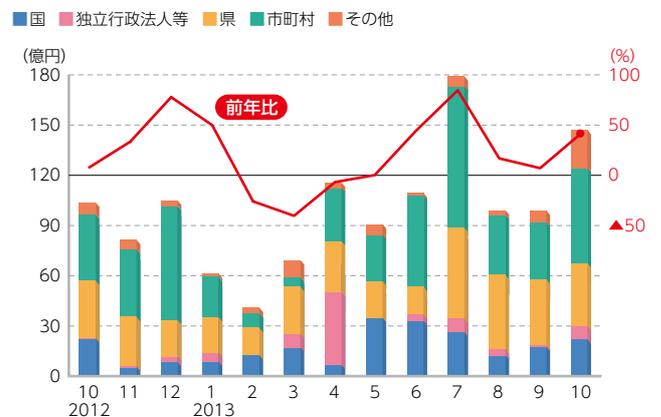
### 4.公共工事 | 好調に推移している

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比19.6%増の403件、金額が同39.5%増の146億円となりました。

発注者別では、医療関連施設の大型案件があった「県」や浄水場更新案件があった「市町村」が前年を上回る等、堅調に推移しています。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の3件、負債総額が同74.0%減の約1億円となりました。

負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 大分県の最近の経済動向

### 大分県の景気 | 持ち直しの動きに弱さが見られる

大分県の景気は、個人消費が底堅く推移しているものの、主要指標である生産が弱含みで推移する等、持ち直しの動きに弱さが見られます。

生産は、月次の振れを伴いつつ徐々に水準が切り下がってきており、弱含みで推移しています。個人消費は、大型小売店販売額がほぼ前年並み水準で推移したものの、自動車販売が前年を大きく上回る等、底堅く推移しています。住宅建設や公共工事は堅調に推移しています。

(松永 圭史)

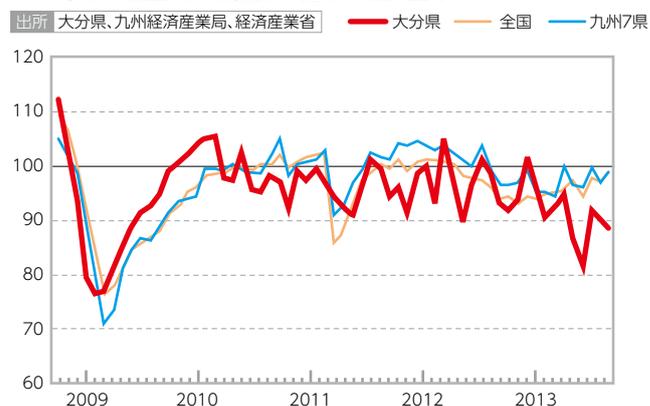
### 1.生産活動 | 月次の振れを伴いつつ、徐々に水準が切り下がってきており、弱含んでいる

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は88.1と前月比2.2%低下しました。

生産は、月次の振れを伴いつつ、徐々に水準が切り下がってきており、弱含んでいます。

主要業種では、携帯電話や家電向け集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇しています。デジタルカメラの生産が減少した情報通信機械は低下しました。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(全国・九州7県 2010年=100、大分県 2005年=100)



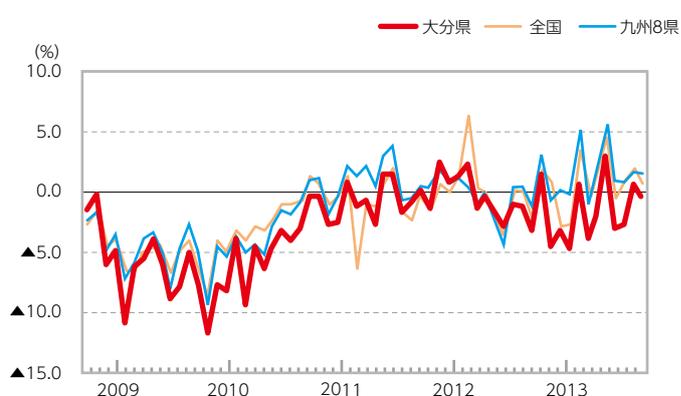
### 2.個人消費 | 底堅く推移している

10月の大型小売店販売額は、前年同月比0.5%減の98億円となりました。

衣料品は、気温が高かったためコート等の防寒着の売れ行きが伸び悩み前年を下回りました。主力の飲食料品は、惣菜や果物等の販売が好調で前年を大きく上回りました。

10月の自動車販売は、前年同月比20.2%増の3,494台となっています(乗用車は同20.8%増、軽自動車は同19.5%増)。

■大分県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





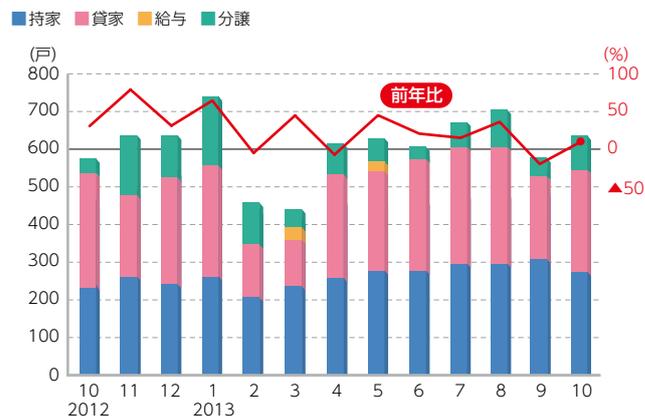
### 3.住宅建設 | 堅調に推移している

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比9.4%増の630戸となりました。

前年に着工がなかった「分譲(マンション)」で着工があり(56戸)、全体で前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



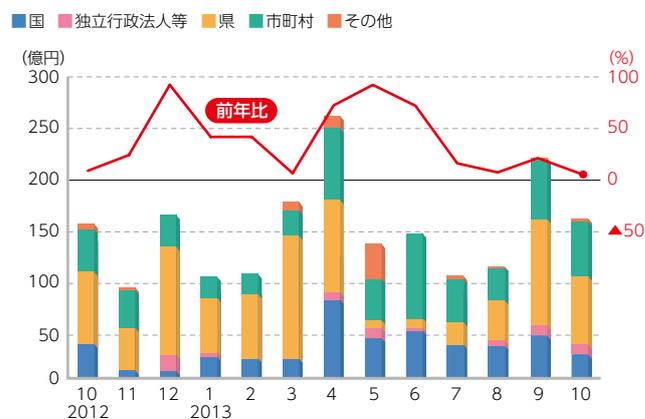
### 4.公共工事 | 堅調に推移している

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.2%増の541件、金額が同8.9%増の166億円となりました。

発注者別では、浄水施設改築工事の発注があった「市町村」が前年を上回る等、堅調に推移しています。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%増の4件、負債総額が同約7倍の約13億円となりました。

土木工事業で12億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を大きく上回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 宮崎県の最近の経済動向

### 宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、個人消費に弱さが見られるものの、主要指標である生産は幅広い業種で生産水準の上昇が見られる等、持ち直しの動きが続いています。

生産は、13業種中9業種で前月比上昇する等、幅広い業種で増産の動きが見られます。個人消費は、大型小売店販売額が前年を下回る等、持ち直しの動きに弱さが見られます。住宅建設は、消費税増税を意識した駆け込み着工が見られ、好調に推移しています。

(松永 圭史)

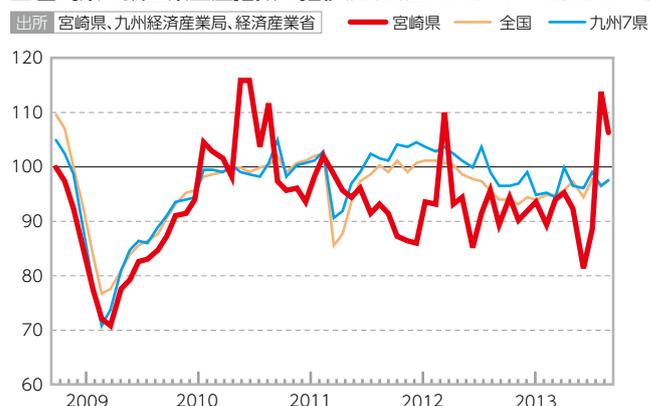
### 1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は103.3と前月比9.7%低下しました。

生産は、前月に見られた一部先における生産急増の剥落があり全体では大幅低下しましたが、幅広い業種(13業種中9業種)で生産水準の上昇が見られる等、持ち直しの動きが続いています。

主要業種では、8月に大幅増産となった電子部品・デバイスが反動減となっています。

■ 宮崎県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(全国・九州7県 2010年=100、宮崎県 2005年=100)



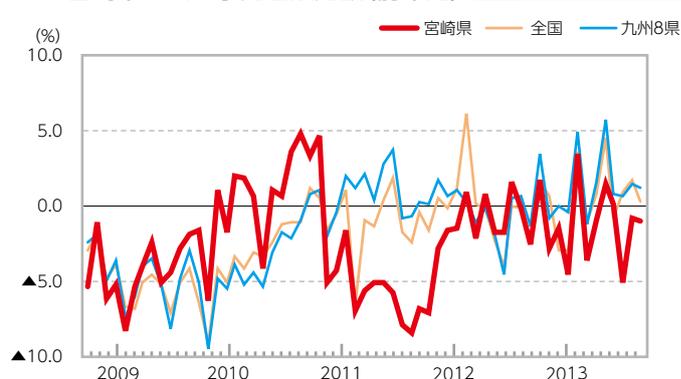
### 2.個人消費 | 持ち直しの動きに弱さが見られる

10月の大型小売店販売額は、前年同月比0.9%減の69億円となりました。

衣料品は、気温が高かったためコート等の防寒着の売れ行きが伸び悩み前年を下回りました。主力の飲食料品は前年を上回りました。

10月の自動車販売は、前年比10.6%増の3,286台となっています(乗用車は同16.7%増、軽自動車は同3.8%増)。

■ 宮崎県の大型小売店販売額(前年比) (出所 九州経済産業局、経済産業省)





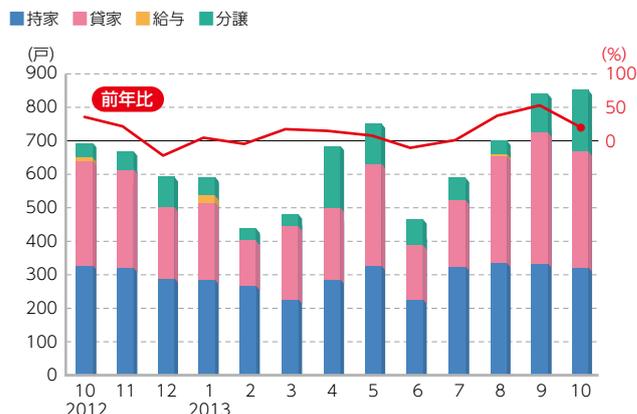
### 3.住宅建設 | 好調に推移している

10月の新設住宅着工戸数は、859戸と前年同月比25.0%増加しました。

「持家」「貸家」「分譲(マンション)」「分譲(戸建)」で前年を上回る等、好調に推移しています。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



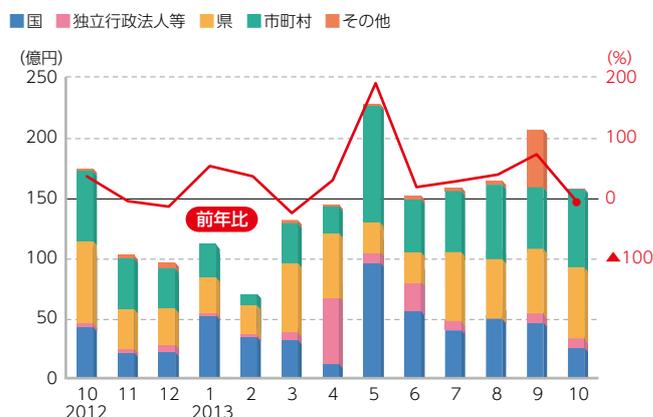
### 4.公共工事 | 足元は回復に向けた動きが一服

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比0.7%増の602件、金額が同4.8%減の159億円となりました。

発注者別では、学校校舎建築工事の発注があった「市町村」が前年を上回りましたが、全体では7ヵ月ぶりに前年を下回り、足元は回復に向けた動きが一服しています。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の2件、負債総額が同約5倍の約9億円となりました。

不動産賃貸業で8億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を大きく上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 鹿児島県の最近の経済動向

### 鹿児島県の景気 | 持ち直しの動きに弱さが見られる

鹿児島県の景気は、個人消費に緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、主要指標である生産が弱含む等、総じて持ち直しの動きに弱さが見られます。

生産活動は、スマートフォン向けコンデンサー等の電子部品・デバイスが低水準で推移する他、かつお節等が減産となった食料品が低下する等弱含んでいます。個人消費は、大型小売店販売額が前年並で推移し、自動車販売が新車投入効果により前年を上回る等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。住宅建設は消費税増税を意識した駆け込み着工により好調に推移しています。

(森山 裕司)

### 1.生産活動 | 弱含んでいる

9月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は83.0と前月比0.1%低下しました。

比重の高い電子部品・デバイスの生産が低水準で推移する等、生産は弱含んでいます。

主要業種では、ファインセラミックスが増産となった窯業・土石製品が上昇しました。かつお節等の生産が減少した食料品が低下しています。

■ 鹿児島県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値)(全国・九州7県 2010年=100、鹿児島 2005年=100)



### 2.個人消費 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

10月の大型小売店販売額は、前年同月比0.2%減の134億円となりました。

半調理品等の中食商品が好調だった主力の飲食料品は前年を上回ったものの、気温が高めで推移したため秋冬物衣料が振るいませんでした。

10月の自動車販売は、前年比22.4%増の4,406台となっています(乗用車は同26.3%増、軽自動車は同17.7%増)。

■ 鹿児島県の大型小売店販売額(前年比) (出所 九州経済産業局、経済産業省)



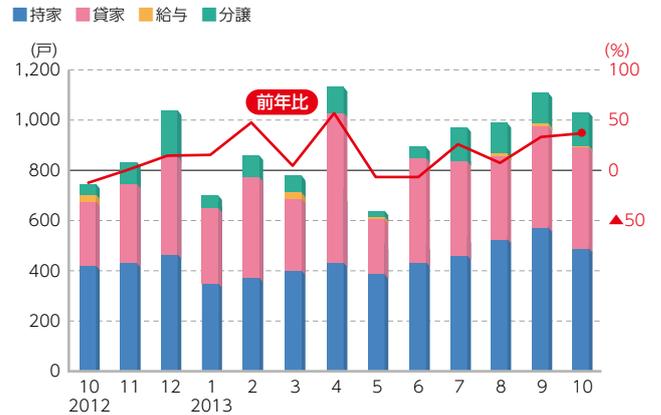
### 3.住宅建設 | 好調に推移している

10月の新設住宅着工戸数は、1,038戸と前年同月比39.3%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により、「貸家」「分譲」が前年を大幅に上回る等、好調に推移しています。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



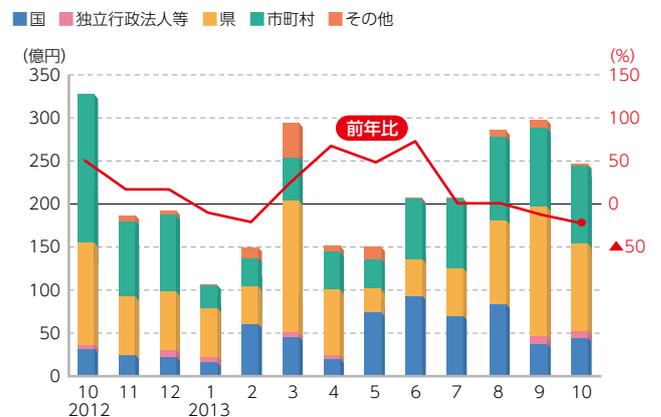
### 4.公共工事 | 足元は回復に向けた動きが一服

10月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比13.9%増の908件、金額が同21.7%減の244億円となりました。

発注者別では、前年に大型案件が多かった「市町村」が反動減となる等、足元は回復に向けた動きが一服しています。

鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

11月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比20.0%減の4件、負債総額が同67.6%減の約2億円となりました。

建設業で1億円を超える倒産が1件あったものの、負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

